



「生きる力」「基礎学力」身につける 丁寧な教育活動こそ

学校選択制

分科会・文教関係(11月21日) 中森辰一議員

11月、来年度で2年目となる市立中学校の学校選択制最終申請状況が明らかになりました(裏面参照)。日本共産党市議団は、市が導入方針を打ち出してすぐに、学校選択制を先行して導入している他都市に向いて調査。「風評によって新入生の減少に歯止めがきかず、地域から学校が否定された気がする」「人気校・不人気校の二極化、学校の序列化が進んだ」という学校現場やPTAの生の声を議会で取り上げ、学校選択制の問題を告発してきました。

決算審査で中森議員は、「生きる力、基礎学力が身に付けられるよう丁寧な教育活動ができるように支援することこそ市教育委員会の最低限の使命。決して『選ばれる学校』をつくることではない」と強調し、改めて市の考えをたしました。

初年度(05年度)で既に風評の影響をうけて1クラス分の生徒が学区外へ流出した学校もあるがどう考えるか?

【市教委】 生徒・保護者が学校を比較検討し選択した結果。敬遠というケースもあったと思う。正確な情報を得て判断してもらうためにも学校の情報提供の充実に努めている。

将来、選択範囲や学区外からの受入数の拡大はあるのか?

【市教委】 そのような制度の根幹に関わる変更は考えていない。

「荒れ」など学校教育現場の困難に対する市教委の支援は?

【市教委】 各校で解決できない場合は、指導主事やスクールサポート指導員、校外補導主事などを派遣し、現場と連携して問題解決に当たる。それでも解決できない場合は市教委でプロジェクトチームをつくって支援する。

学校現場は教員の加配を強く望んでいるが、どう応えてきたか?

【市教委】 県教委に学校の実情に応じた加配を要請し、生徒指導支援を中心に全体で5名加配されている。また、市費で非常勤講師をつけ、国・数・英の3教科では1学級を2つの集団に分けて少人数指導を週に10時間程度実施している。

学校間の学力差や不登校など保護者の最大の関心に応えるためにも一緒に生徒指導ができる教員を加配すべきだが、市費による正規採用の教員加配は?

【市教委】 (市費による)正規採用の教員はいない。

選択制により地域の取り組みが壊されるとの懸念があるが?

【市教委】 学校・家庭・地域が一体となり、まちぐるみで子どもたちを育むために、学校協力者会議(地域団体の関係者で構成)の設置や地域の人材活用などを進めてきた。学校が抱える問題も地域の協力を得ながら解決することが重要と考えている。

学校選択制による成果は?

【市教委】 現段階で明確な評価は難しいが、生徒・保護者へのアンケート結果、校長からの聞き取りによると、学校情報の積極的な提供による開かれた学校づくりが進んできたこと、保護者の学校に対する関心が高まってきたこと、学力向上に向けて教職員の意識が変化しつつあることなどが成果としてうかがえる。

小学校への選択制の導入は進めるのか?

【市教委】 小学校は特に地域とのつながりが深い。小学校長や学校協力者会議のメンバーにアンケートを実施している。導入が前提ということではなく慎重に検討する。

子どもたちの命を守るためにも 校舎の耐震化予算 最優先に確保を

学校の校舎は、子どもたちが昼間の大半を過ごす場所であると同時に、非常時には阪神大震災でみられたように地域住民の避難場所として重要な役割を担います。

市も、「地震時における子どもたちの生命を守ることは差し迫った課題」として、校舎の耐震化の緊急性を認めています。

ところが、市は公共施設の「耐震化の優先順位」を決めるなかで、校舎については順位を下げて耐震調査の順番を決めただけにとどまっており、すべての校舎の耐震化がいつまでに終わるのか、その目途すらたっていない。

中森議員は、「大規模な地震が発生すれば、耐震強度が不十分な校舎はつぶれる。子どもたちの生命を守るという広島市の最優先課題であるはずなのに、耐震化完了の目途すらたないのは非常に問題。耐震調査をするよう指示しながら財政的支援をしない文部科学省にも問題がある」と厳しく批判し、校舎の耐震化に必要な予算を確保するよう要望しました。

＝ 広島市立中学校 隣接校・行政区域内校選択制(学校選択制)の状況 ＝

表記説明	受入数・・・学区外からの受入数上限(最大40人) 入学数・・・学区外から入学した生徒数 学区外へ・・・学区外の市立中学校へ入学した生徒数 生徒減・・・(学区外へ)から(入学数)を引いた数。マイナスなら増加。 抽選・・・学区外からの入学希望者数が受入数を超え、公開抽選を実施する中学校
------	---

※ 障害児学級・夜間学級、および今年4月合併の湯来町分(05年度以前)を除く。

区	中学校名	04年度1年生		05年度1年生		05年度制度実績				06年度最終申請状況			
		学級数	生徒数	学級数	生徒数	受入数	入学数 a	学区外へ b	生徒減 (b-a)	受入数 c	申請数 d	抽選	倍率 (d/c)
中区	幟町	3	102	3	104	30	6	8	2	40	20		0.50
	吉島	5	173	5	166	30	0	5	5	40	13		0.33
	国泰寺	5	171	5	180	40	26	6	▲ 20	40	77	●	1.93
	江波	7	250	6	204	40	1	5	4	40	1		0.03
東区	温品	4	146	4	125	40	3	1	▲ 2	40	18		0.45
	戸坂	6	221	7	242	0	—	30	30	5	8	●	1.60
	牛田	5	163	5	194	40	30	4	▲ 26	40	78	●	1.95
	二葉	6	211	6	207	40	3	4	1	25	4		0.16
	福木	4	142	4	146	40	5	1	▲ 4	40	0		0.00
	早稲田	3	83	2	74	0	—	0	0	15	9		0.60
南区	大洲	4	158	4	141	0	—	3	3	5	20	●	4.00
	段原	3	110	4	149	40	3	2	▲ 1	30	9		0.30
	翠町	6	226	6	227	0	—	7	7	20	28	●	1.40
	仁保	4	138	3	113	30	2	4	2	40	2		0.05
	楠那	2	45	1	38	20	3	3	0	35	5		0.14
	宇品	6	202	6	212	40	7	1	▲ 6	40	11		0.28
	似島	1	12	1	12	5	1	0	▲ 1	10	4		0.40
西区	中広	5	188	5	182	40	25	10	▲ 15	40	31		0.78
	観音	5	178	4	133	40	1	36	35	40	1		0.03
	己斐	4	132	4	128	40	22	1	▲ 21	30	25		0.83
	庚午	6	214	6	214	35	5	10	5	25	27	●	1.08
	井口	6	206	6	212	25	18	1	▲ 17	25	76	●	3.04
	古田	6	205	5	183	40	4	27	23	5	10	●	2.00
	己斐上	2	51	2	53	40	0	7	7	40	4		0.10
	井口台	5	174	5	184	5	6	3	▲ 3	25	12		0.48
安佐南区	城南	6	213	7	241	40	37	10	▲ 27	30	79	●	2.63
	安佐	6	203	7	260	40	34	2	▲ 32	40	137	●	3.43
	安西	4	159	4	139	40	7	8	1	40	24		0.60
	祇園	6	205	4	158	40	0	33	33	40	3		0.08
	祇園東	4	145	5	163	40	24	3	▲ 21	30	33	●	1.10
	戸山	1	14	1	18	10	2	1	▲ 1	10	3		0.30
	伴	7	247	7	250	0	—	1	1	0	—		
	安佐南	5	174	4	152	25	4	8	4	5	8	●	1.60
	長束	3	114	4	156	40	21	6	▲ 15	35	16		0.46
	高取北	3	112	3	95	40	2	6	4	40	5		0.13
	城山北	5	172	4	130	5	0	36	36	40	1		0.03
	東原	5	165	4	138	0	—	3	3	0	—		
安佐北区	白木	3	97	2	76	40	0	3	3	40	0		0.00
	高陽	3	120	4	124	25	7	7	0	25	14		0.56
	落合	5	175	5	162	10	0	4	4	15	6		0.40
	可部	5	171	5	167	30	8	2	▲ 6	40	23		0.58
	亀山	5	183	6	202	40	1	5	4	40	0		0.00
	清和	4	157	3	102	40	2	2	0	40	2		0.05
	日浦	2	75	2	70	40	1	3	2	40	2		0.05
	亀崎	3	114	3	100	40	13	2	▲ 11	40	25		0.63
	三入	5	166	4	139	35	0	2	2	40	0		0.00
	口田	8	281	7	254	0	—	5	5	5	11	●	2.20
安芸区	瀬野川	5	182	5	165	40	0	3	3	40	1		0.03
	阿戸	2	47	1	30	0	—	0	0	5	0		0.00
	船越	3	85	2	80	35	2	0	▲ 2	40	3		0.08
	矢野	7	275	8	320	0	—	0	0	5	1		0.20
	瀬野川東	3	88	3	91	15	1	0	▲ 1	30	9		0.30
佐伯区	三和	8	315	8	282	0	—	19	19	25	8		0.32
	五日市観音	5	178	5	178	40	2	4	2	40	1		0.03
	五月が丘	2	60	2	50	40	0	3	3	40	3		0.08
	美鈴が丘	3	91	3	94	30	13	0	▲ 13	40	26		0.65
	五日市	8	284	8	288	0	—	7	7	10	18	●	1.80
	五日市南	5	189	5	194	0	—	0	0	5	2		0.40
	城山	4	123	3	99	40	15	0	▲ 15	35	14		0.40
	湯来	—	—	—	—	—	—	—	—	20	0		0.00
	砂谷	—	—	—	—	—	—	—	—	20	0		0.00
合計		266	9,280	257	8,990		367	367			971		